

## 学校関係者評価結果

令和3年度の学校関係者評価委員会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の関係で書面審議とし、各委員より2020年度自己点検評価報告書に対する評価を回答書にて提出いただいた。結果は以下の通り。

項番	大項目	項目	自己評価	学校関係者評価委員の評価結果
1	教育理念・目的・人材育成像	(1)教育理念・目的・人材育成像は明文化されているか。	学則に記述されている。	学則は学生便覧に明文化され、適切に周知されている。
		(2)教育理念・目的・人材育成像は、教職員・学生に周知されているか。	学則を学生便覧に掲載し、全教職員・学生に配布し、オリエンテーションで新生入生に説明しており、周知されている。	
2	学校運営	(1)事業計画に沿った運営方針が策定されているか。	事業計画及びそれに沿った運営方針を策定している。	毎年度、事業計画及び運営方針を策定し、適切に共有される仕組みも整備されている。
		(2)運営組織や意思決定機能は有効に機能しているか。	重要な事柄は学科長会議にて審議後、学園運営協議会及び理事会に諮られ、その他の事柄は職員会議、各部署の責任者により意志決定される。これらの事柄は、職員会議で報告され、全教職員に周知されており、運営組織や意思決定機能は有効に機能している。	
		(3)情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	2020年度、学務に関する新システムを導入し、事務・教育面にて業務の効率化を図っている。情報・データは校内LANを通して共有化され、事務用・教育用サーバを利用して業務の効率化が図られている。	
3	教育活動	(1)教育理念・目的を実現させるために、すべての学科において、適切にカリキュラムを編成しているか。	各学科ごとに、教育理念・目的を実現するカリキュラムが組み立てられ、適切な編成となるように常に努力をしている。2020年度より社会情勢の変化や授業の効率化を踏まえ学科の再編と新カリキュラムをスタートさせた。	2020年度から学科再編・新カリキュラムを開始し、資格取得や教員の負担に適切に対応している。
		(2)授業評価を実施しているか。	学生に授業評価アンケートをほぼ全科目について実施し、集計結果を教科担任が把握して、授業の質の向上に役立てている。	
		(3)資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	資格取得を見据えたカリキュラム構成になっており、資格試験対策講座を設けて指導している。夏・春休みには、資格試験の集中講座を設けている。	
		(4)教員の授業時間、コマ数は無理がなく適切か。	本校では90分授業を1コマとし、教員は一人当たり週7コマを標準としている。クラス運営・学生指導の他、広報、入試、就職、教務等の担当を決めて対応し、負担が1人に集中しないように留意している。	
4	学修成果	(1)就職率の向上が図られているか。	企業説明会・入社試験の本校開催を呼びかけ、学校法人名古屋電気学園愛名会主催の企業展に大学と連携して学生の参加を促し、多くの学生を就職に繋げている。	企業への働きかけ、資格取得により、高い就職率を達成し、希望分野への就職率も高い。
		(2)資格取得率の向上が図られているか。	各学科・コースにおいて、資格取得向上を目指した取り組みを検討・実施し、努力を続けている。	
5	学生支援	(1)就職指導のための体制や教職員の配置、確保を十分に行っているか。	就職に関する講義科目を設け、教員が授業の中で履歴書作成・面談指導など行っている。「就職の手引き」を学科ごとに作成し配布している。	就職指導、大学編入の対応を適切に行い、経済的支援も充実している。
		(2)大学編入に対する指導体制は十分か。	編入学試験科目を、1年次後期に特別講座として開講し指導している。編入学試験情報をまとめて情報提供し、適切な受験指導を行っている。対外的な窓口は編入学担当教員が行い、学生に対する指導も担任と一緒にしている。	
		(3)学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。	本校独自の奨学金制度、同窓会や学園の奨学金制度など各種支援体制が整備されている。また、2020年度から開始した「高等教育の修学支援制度」の対象校として認定を受け、授業料・入学金の減免、給付奨学金の支給等行っている。	

## 学校関係者評価結果

令和3年度の学校関係者評価委員会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の関係で書面審議とし、各委員より2020年度自己点検評価報告書に対する評価を回答書にて提出いただいた。結果は以下の通り。

項番	大項目	項目	自己評価	学校関係者評価委員の評価結果
6	教育環境	(1)施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	実習には産業界で利用されている最新機材を導入するよう努めている。また、実習室のパソコンは国の補助金を活用して実習室ごとに毎年更新を行っている。	最新機材を導入し、学生の就学環境も良好である。加えて防災への意識も高い。
		(2)防災に対する体制は整備されているか。	年1回、学園の全設置校同時に防災訓練を実施し、学園全体として防災意識を高めている。災害発生時の役割分担は明確にして訓練において実践している。災害に備え食品、毛布等備蓄されている。	
7	学生の受け入れ募集	(1)学生募集活動は、適正に行われているか。	高校訪問、ガイダンス参加、オープンキャンパス開催、進学情報誌への掲載、ホームページへの掲載等行っており、学生募集活動は適正に行われている。また、入試に必要な情報は募集要項に掲載し、適切に行っている。	高校訪問、ガイダンス参加など情報発信が効果的に実施されている。
		(2)学生募集活動において、資格取得、就職状況等の情報は正確に伝えられているか。	資格取得、就職状況等の情報は、毎年発行する「SCHOOL GUIDE」（学校案内）に正確な情報を掲載している。ホームページでも公開している。	
8	財務	(1)予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	毎年、経常費予算計画を立案し、適正に管理するとともにその予算が効果的に執行されるように努めている。	経常費予算計画により、適切に管理するとともに、設備更新の年次計画により教育環境の充実を図っている。
		(2)財務について会計監査が適正に行われているか。	年1回公認会計士による会計監査があり指導を受けている。	
9	法令等の遵守	(1)法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	学校運営は、法令や専修学校設置基準等を遵守した学則等の規則を定めて実施している。	法令遵守、個人情報の取扱いなど適切に対応している。
		(2)個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	個人情報に関する規程を制定して対策している。また、情報セキュリティ対策規程を制定してインシデントの発生防止や発生時の対処について明確にしている。	
10	社会貢献・地域貢献	(1)学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	CAD利用者技術者試験等の試験会場として施設を提供してきた。今後も社会貢献・地域貢献できることがあれば積極的に取り組んでいく。	中高年齢者、小学生などを対象に公開講座を実施したことがあり、今後も更なる充実を期待する。
11	新型コロナウイルス（COVID-19）感染症への対応	(1)学校施設内の感染防止対策	入学式の取り止め、学生への支援金支給、検温器・消毒液の設置、窓口への飛沫防止用シートの設置など行った。卒業式はテレビ会議システムを利用し会場を分けて実施。教職員・学生はマスク着用として感染防止に努めた。緊急事態宣言発出中は遠隔授業とし、解除後は対面授業を実施したが、窓の開閉、加湿器の稼働、教室の人数制限、Teamsの活用、アクリル板設置など可能な限りの感染防止策を実施した。	施設環境への対応、リモートと対面を組み合わせた授業などしっかりと対応している。
		(2)関連情報の共有	名古屋電気学園全体として情報共有を行い、設置校全体で抜けの無い感染防止策に努めた。各種情報は、教職員全体で共有し、刻々と変化する状況に対応した。	